

あけましておめでとうございます

お正月はどのようにお過ごしでしたでしょうか？

昨年に引き続き本年もよろしくお願い申し上げます。

さて昨年、国外へ視察へ行く機会があったのですが、出てみると日本国内は  
いかに便利で環境が整っているか再認識させられます。美味しい不味いはある  
けれど蛇口をひねれば飲める水が出る、電気も滅多なことでは停電しない。

電車やバスは安全で時刻通りに運行する。当たり前のようなことが一歩国外へ  
出ると、まずそうはいかないことのほうが多いです。

そんな安全・安心の日本ですが、ひとたび自然災害が起きるとインフラは寸断され、一挙に  
生活難に陥ってしまいます。昨年、大雨が降って浄水場が濁り、断水した地域があったこと、他にも大きな災  
害が起き、尊い命が失われたことは記憶に新しいところです。

年々気象現象は激しくなってきたり、災害に対する備えをしなければならぬという機運は高まってきて  
はいるでしょうが、それでもやはり、つい自分のところは大丈夫という意識がどこかにあることも否めないの  
ではないでしょうか？ かく言う私も万が一に備えて、最低限の水や食料、身の回りの物をひとまとめにして  
置いてはあるものの、水や食料には賞味期限があり、うっかりすると、とうの昔に期限切れ・・・などという  
ことも・・・。国の施策として太陽光や風力などの再生可能エネルギーを利用し発電した電力の買い取りが始  
まって3年経過し、買い取り価格は下がる、買い取り拒否はされる等わけのわからない状況になってきている  
ようですが、「備えあれば憂いなし」これからは買い取りを目的とした設置というよりむしろ災害が起きた時、  
個々では必要最低限の家電や生活用水の確保の為、企業に至っては生命線となるものの保持と社員の保全、そ  
して地域コミュニティへの協力という視点で独立電源及び生活用水取得のための設備などを考えていくことが  
必要ではないかと思えるこの頃です。

## 日本の野鳥シリーズ

### オオコノハズクを捕まえた

技術営業部 佐藤 弘

夜行性のフクロウ類は昼間まったく飛ばないかと思えば、そうでもないようだ。草地でコミミズクがネズミを探して飛ぶ姿を観たし、私達の調査地でも 10 時に本種を捕獲したことがある。網に掛かる様子を見ていた人は、メジロの群れを追ったが軽くかわされ、勢い余ってたたらを踏んだ格好だったという。両種共に腹が減ってジッとしていられない状況だったらしい。

現在は調査小屋に電気を引いてあるので、本種が渡る時期には夜間も網を開けてそこその数を捕えている。しかし当時本種は珍しく、基礎的なデータが欲しくて体重や各部位の寸法を計測した。机上にあお向けに寝かせ翼を全開して翼開長 (wing span) を測り、その図体にしては翼が長いことを知った。但し幅は決して広くない。長いうえに幅広の翼だったら羽ばたくのはしんどい。そんな翼形の典型例は、上昇気流を利用して省エネ飛行するワシ・タカだ。翼が長いと飛行速度が遅くても、翼が空気を切る面積が十分に得られる利点がある。一方、重そうな体で翼が短かく見えるキジやカモ類は、ブツ飛ばないと体重に釣り合うだけの揚力が得られないから、これまたしんどい。

フクロウ類の狩りに注目すると、鳥の寝込みを襲う、餌を食うことに夢中のネズミを仕留める、外灯に目がくらんで墜ちた甲虫を拾う…。相手はまず静止状態だから襲撃にスピードは要らない。重要なのはネズミに接近を気づかれないことで、その威力を発揮するのが翼の消音装置だ。これは、翼のほぼ中央から先の周辺部に、クシの歯状の短い突起が並んでいるものだ。突起が無ければ、羽ばたきの度に翼がスパッと切った空気と空気が摩擦音を発するところ、突起によって生じるモヤモヤした小さな空気の渦に切断面が掻き乱され、摩擦音の発生を防ぐと見た。

高速で疾走する新幹線車両のパンタグラフ支柱は、その理論を応用しているという。即ち、支柱側面にある複数の小さなコブが後方の気流を乱し、うなりを上げる空洞の発生を防いでいるようだ。どんな発明などにしてもゼロから出発するのは至難の業で、何か核になるものをヒントに考えを積み上げていくと、いい結果が得られるとはよく聞くことだ。

あのオオコノハズクは計測の間何をされても無抵抗だった。ただの寝ぼすけを森の賢者と言ったのは誰？



“今年のヒット”

技術営業部 副部長 山本知男

2014年も一年、忙しさと共に過ぎて行った感じがですが趣味の音楽の方も忙しかったです。特に秋は文化祭やら音楽祭、フェスティバルなんかが目白押しで、休みの日になるとほぼ毎週演奏してた感じです。でも今年は“アナ雪”、“妖怪ウォッチ”と言うヒット曲があって、演奏面では多少楽で、どこでも“アナ雪”では観客が大合唱してくれ、“妖怪ウォッチ”は子供が踊ってくれて、観客の方で盛り上がり上げてくれて、こちら楽しめるしお客さんも楽しんでくれて楽しかったね。

いつも演奏会では選曲に悩みます。我々のバンドはクラシックから歌謡曲までとジャンルの中が広いので観客も多様です。お客様も幼稚園児～90歳の方が来場されていて、幅広く人気があるようで有難いのですが、選曲では苦労します。でも、そういう困った時はディズニーと言う神話があって、“ピノキオ～星に願いを”、“白雪姫～いつか王子様が”、“リトルマーメイド～アンダー・ザ・シー”等々、有名な曲が多く、またいつ聞いても心に響く曲がいっぱいあるし、どの年代にも好評とオールマイティーな曲が多いです。

こういう曲とまた別のジャンルを組み合わせると、何とか格好付いた演奏会になります。2014年は“アナ雪”と“妖怪ウォッチ”の2曲には随分助けられました。

さて当社に於いては“サーマルタンク”と言う製品があります。なんだかんだで日本全国に5000本ほど納めさせて頂いており、当社のヒット商品でもあります。(自らヒットと言うのも恥ずかしいですが・・・)

でもサーマルだけでは、なかなか上手く回らない。出来ればもう一つヒットが出ればと日々思うんですが、そんなに簡単にヒットが生まれるものでもない。今年もやっぱり出なかったなあ。こういうのは難産だし、苦労、苦心しなきゃ出ないもんで、でもサポってる訳でもないんですがね…。

来年も忙しくなりそうで、有難いことです。安倍さんのおかげなのか、日本酒のブームが進行して来ているのか、継続して行くと良いなと大好きな酒を呑みながら思ってます。

2014年もこんな感じでしたが、2015年もしっかり頑張っていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

◆ ちょっと豆知識 ◆ その22 「年頭所感」 技術営業部 部長 成田 護(mamoru@shinyo.co.jp)

新年明けましておめでとうございます。旧年中は「ものづくり補助金」の追い風もあり、お陰様で大変忙しい一年を過ごさせていただきましたが、納期その他で皆様方にはご迷惑をお掛けしましたことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、今回は「豆知識」でない話を少し…。

先日、取引のある醸造用品店の営業の方からこんな話を聞きました。

「うちの社長から、何か困ったことがあったら新洋技研の営業に聞け」と言われたというのです。

率直に、大変嬉しく思いました。

私が6年前に当社にお世話になった当時、誤解を恐れずに言えば、当社は紛れもなく「ただのタンク屋さん」でした。

その後、私が営業部門の責任者になってから「お客様が困った時、最初に思い浮かべる相談先が新洋技研工業である、そんな会社になろう」をスローガンに様々な取り組みをしてきました。

新潟県酒造技術研究発表会での発表を皮切りに、醸造協会の技術セミナーの講師を引き受け、社内では案件を一人で抱え込まず「チームとして動く」ことを心掛け、お客様から投げ掛けられたことには「分かりません」とは言わない…。

地道に、愚直に取り組んできた結果、当社スタッフのスキルは随分向上したように思います。

本来得意とする醸造設備以外にも、蔵内の衛生管理全般、酒税法に関する知識、果ては新規製造免許の申請に際してのアドバイスに至るまで、当社に寄せられるご相談は数年前からは比較にならないほど多岐に渡るようになってきました。

最近面喰ったのは「当社の吟醸酒が『ふくらみが無い』との評価を受けるのだがどうしたものか…」というご相談でした。こちらが「どうしたものか…」でしたが(笑)。

「最強のチーム」とまでは呼べないまでも、可能な限り客観的に評価して「戦える集団」にはなってきたように思います。

どうぞ本年も変わらぬご愛顧のほどをお願い申し上げますとともに、タンク導入の検討に際しましては十分納期に余裕を見ていただきますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶と致します。



ホーロー計画

モッセイ

生産部 島貫 修一

放浪計画?いいえ瑠瑠です。何をホーローにするのかと言うともちろん鍋・やかん。

どこの家にもあり、毎日使っているのに地味な存在なのが鍋。調理された料理が表舞台の役者なら、鍋は裏方さんとも言える。一般に使われているアルミやステン製の鍋でも、調理道具としての機能は満たしており、おいしい料理が作れる。しかしだ。レストランの厨房なら機能第一で当然だが、家庭の台所の場合は機能プラス愛着を感じる何かが必要だ。

そこで数年前からホーローの両手鍋と片手鍋を使っている。インターネットで買った物だが、色・デザインが豊富でおしゃれな小物的な感じで好みの物を選べる。更に料理の保存に使えるのもありがたい。カレーや煮込み料理の入った鍋を夏は冷蔵庫で、冬は玄関の板の間(家の中ではここが最も寒い)で保存している。ドアを開けると鍋がお出迎えする珍しい玄関です。やかんはステン製の2.5Lを使っているが大きすぎるので、小容量の物を検討中。和風・洋風・クラシックと多種多様で選択に悩む。

フライパンと炒め鍋だけは焦げ付き防止のコーティングが必要だけど、それ以外の鍋は徐々にホーローに替えるつもり。ホーローには金属製品特有の外観の冷たさがないし、じっくり考えて選んだ物だから、単なる道具ではなく愛用品として長く付き合っていきたい。

